

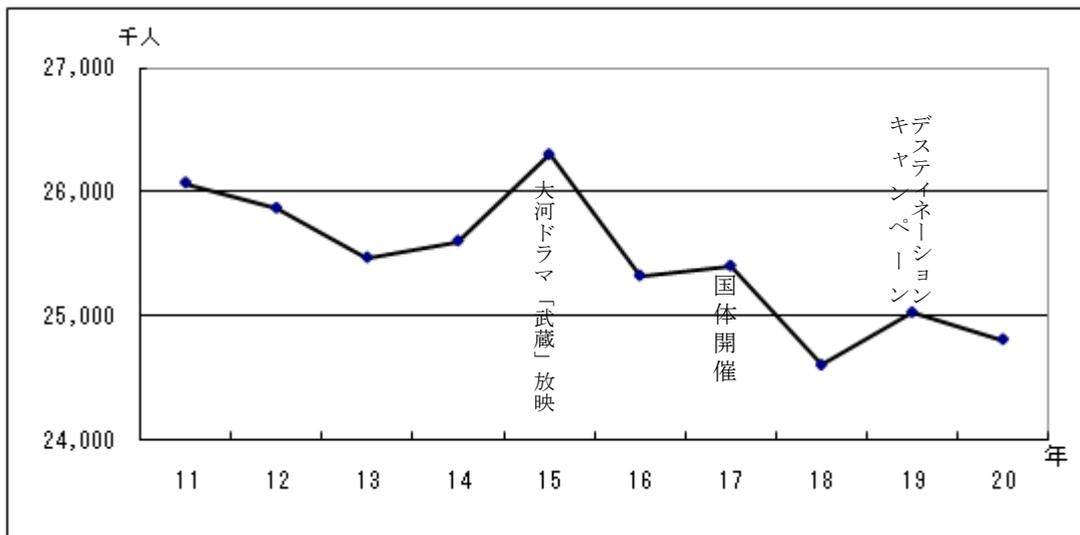
平成20年岡山県観光客動態調査結果の概要について

1 総観光客数

平成20年の総観光客数は、24,806千人であり、岡山デスティネーションキャンペーンを実施した前年と比べ、0.9%減少した。

区 分	平成19年	平成20年	対前年比
総観光客数(千人)	25,024	24,806	99.1%

〈総観光客数の推移〉



2 主要観光地の状況

観光客数が多い順に、倉敷美観地区、玉野・渋川、蒜山高原となっている。

イベント等への来場者の増加で、岡山市中心部の観光客数が伸びている。なお、蒜山高原、鷲羽山とその周辺、湯原・湯原温泉等の観光客数が減少した。

(単位:千人、%)

順位	観光地名	平成19年	平成20年	対前年比
1	倉敷美観地区	3,206	3,242	101.1
2	玉野・渋川	2,253	2,294	101.8
3	蒜山高原	2,287	2,251	98.4
4	岡山市・吉備路	1,760	1,742	99.0
5	鷲羽山とその周辺	1,828	1,638	89.6
6	岡山市中心部	1,046	1,211	115.8
7	美作・湯郷温泉	893	935	104.7
8	倉敷チボリ公園	765	925	120.9
9	後楽園	782	751	96.0
10	湯原・湯原温泉	657	575	87.5

3 県内、県外別の観光客数

前年に比べ、県内観光客がわずかに増加した反面、県外観光客がやや減少した。
(単位:千人、%)

区 分	平成19年		平成20年		対前年比
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	
県内観光客	12,522	50.0	12,665	51.1	101.1
県外観光客	12,502	50.0	12,141	48.9	97.1
計	25,024	100.0	24,806	100.0	99.1

4 発地別の観光客数（県外観光客のみ）

近畿、関東からの観光客数が減少した反面、中国、四国からの観光客数が増加している。なお、最近の旅行事情を反映して、県外客のうち近畿、中国、四国からの観光客が約88%を占めている。

(単位:千人、%)

発 地	平成19年		平成20年		対前年比
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	
近 畿	6,753	54.0	6,182	50.9	91.5
中 国	3,131	25.0	3,347	27.6	106.9
四 国	1,092	8.7	1,179	9.7	108.0
中 部	509	4.1	597	4.9	117.3
関 東	491	3.9	409	3.4	83.3
九州・沖縄	236	1.9	227	1.9	96.2
その他	290	2.4	200	1.6	69.0
計	12,502	100.0	12,141	100.0	97.1

* その他・・・東北、北海道、海外等

5 日帰り、宿泊別の観光客数

日帰り客は前年に比べ減少しているが、全体の約6割強を占めている。宿泊客は前年に比べ、約1割程度増加している。

(単位:千人、%)

区 分	平成19年		平成20年		対前年比
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	
日帰り客	16,915	67.6	15,734	63.4	93.0
宿泊客	8,109	32.4	9,072	36.6	111.9
計	25,024	100.0	24,806	100.0	99.1

6 観光消費額

総観光消費額は約1,463億円で、観光客数が減少したことや一人あたり平均観光消費額が減少したこと等の影響により、約21億円減少している。

(単位:百万円、%)

区 分	平成19年	平成20年	対前年比
日帰り客	56,939	51,053	89.7
宿泊客	91,381	95,208	104.2
計	148,320	146,261	98.6

* 総観光消費額 = 一人あたり平均観光消費額 × 観光客実人員

[調査方法]

- ① 有料観光施設の入場者数、キャンプ場・海水浴場・スキー場の入込客数等を基に、総観光客数を推計
- ② 県内主要観光地（47か所）において、2月・5月・8月・11月の各2日間にわたって実施した実地調査で集めたデータを基に、県内・県外別観光客数等を推計
- ③ 実地調査場所（47か所）及び倉敷チボリ公園において配布したアンケートを基に、日帰り・宿泊別の観光客数や観光消費額等について推計